

2月会議の概要

令和2年度七尾市議会定例会2月会議は、2月8日(月)の1日間の会議期間で行われ、令和2年度七尾市一般会計補正予算(第10号)を含む議案2件、監査委員選任についての同意案1件、報告1件(議決不要)が提出され、審査の結果、全ての議案等は可決および同意されました。

主な議案

【議案第87号】

令和2年度七尾市一般会計補正予算(第10号)

◆新型コロナウイルス

ワクチン接種事業費……2億7,616万8千円

※市民全員を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種

【議案第88号】

財産の無償譲渡について

無償譲渡する財産

・宅地 6筆 14,847.89 平方キロメートル

・建物(旧徳田小学校)

・その他付属する建物、設備、構築物及び備品

無償譲渡の相手方 能登わかば農業協同組合

令和2年度第3回臨時会の概要

令和2年度七尾市議会第3回臨時会は、3月30日(火)の1日間の会期で行われ、令和3年度七尾市下水道事業会計予算を含む議案2件が提出され、審査の結果、全ての議案は可決されました。

議案第139号 令和3年度七尾市下水道事業会計予算

◆3月会議に上程した令和3年度当初予算の使用料などに必要な修正を加えたもの

議案第140号 令和3年度七尾市一般会計補正予算(第2号)

◆ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費……2,842万9千円
※低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金(児童1人あたり一律5万円)

◆下水道事業会計繰出金……5,965万3千円
※下水道使用料減額に伴う増額

総務企画 分科会(予算決算常任委員会) 常任委員会

総務企画常任委員会に付託を受けた議案および予算決算常任委員会総務企画分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長/山崎智之(→杉木 勉※2月会議において交代)
- ◆副委員長/礒貝和典
- ◆委員/西川英伸、久保吉彦、中西庸介、杉木 勉(→山崎智之)

【2月会議】

委員会付託 ・なし
分科会分担 ・議案1件

【3月会議】

委員会付託 ・議案9件
分科会分担 ・議案5件

【第3回臨時会】

委員会付託 ・なし
分科会分担 ・議案1件

4月1日より新たな年度がはじまった七尾市役所

主な審議内容

【議案第89号】

令和3年度七尾市一般会計予算

◆歳入(市税)について

- ①市税が8億2千万円の減という見込みだが、これは国から補てんされる見込みがあるのか。
- ②8億2千万円のうち、中小企業の固定資産税の軽減分の5億5千万円が国の地方特例交付金で補てんされる。

【議案第138号】

令和3年度七尾市一般会計補正予算(第1号)

◆新型コロナウイルス感染症対策及び地域経済対策について

- ①今回の補正予算の財源は、国の第3次補正予算による国庫補助金である。今後の対応は、市内の状況に応じて施策を講じていくことになるが、場合によっては国庫補助金だけでなく、財政調整基金や市債を使った、市の持ち出しがある形で事業する必要があると思うが、行政としての考えはいかがか。
- ②今後も適切な時期に進めていく。財源調整については、財政調整基金の利用も視野に入れながら国の動向を注視していく。
- ③財政が厳しい折であるが、対応はスピード感を求められることもある。国の動きを待つことにより適切な時期が過ぎることが無いよう、場合によっては国の支援が無くても財政調整基金などを使ってでもやらないといけないと思うかがか。
- ④全国一律のメニューではなく、和倉温泉をかかえるなど七尾市の事情に配慮した形で検討する。

【議案第98号】

七尾市部設置条例の一部を改正する条例について

- ①市長の思いの実現のために組織を変えるということだが、現状の組織のどの部分に支障があるのか。
- ②横断的に部の情報を共有できる。市民の声を直接聞いて、それを部課全体で共有できる。そのための組織として総合政策部をしっかりと動かしていきたい。
- ③これまでの行財政改革の中で、部課を減らし行政コストを削減してきた。デジタル庁関係などの新しい仕事が増えるのであれば課や室を増やして対応すればよいと思うが、対応している部がある現状で、なぜ新しい部(総合政策部)を増やすのか。
- ④各部を横断的に情報共有したり、実際に何かの事業をするとなった時、情報を集めたり集約するところが、まさに総合政策部である。これからの情報化社会では一つの部でまとめてできる事業が少なくなってくると思うので、そういうものにしっかり取り組むための部である。
- ⑤市長には、民間レベルでいろいろなアイデア、新しい情報が入ってきている。そういうものをキャッチして形に変えていくための第一段階として、総合政策部で一度検討し、実際に行政に関わるべきものかどうかを判断したうえで、各担当部で実際の業務をしてもらうということだが、企画は別の人がやり、現場では担当課が動けるとなると、職員全体のモチベーションが下がるのではないかと。頭脳と手足がばらばらで大丈夫なのか。
- ⑥総合政策部で検討した結果、行政として取り組むべきという話になれば、担当課も入れたプロジェクトチームを立ち上げて事業の形をつくっていく。